

持続可能な社会をめざして

～日本にはどのような取り組みがあるのか～

校種・学年	小学校・第5学年	教科等	社会科
時間・学期(月)	5時間・後期(11月)	副読本	P15「自然エネルギーの活用」
準備等	グラフ資料・写真資料		

1 ねらい
 日本が持続可能な社会を目指して行っている取り組みについて、資料を活用して調べ、必要な情報を読み取ることができる。また、持続可能な社会を目指すために環境問題に配慮して研究が進められていることを知る。

2 伸ばしたい資質・能力
 ○資料を活用して、必要な情報を集め、読み取る力
 ○日本の工業生産の現状と課題について理解する力
 ○持続可能な社会の実現について考えようとする力

3 指導計画(全5時間)

時間	主な学習活動・内容等
1	日本の工業の課題
1	持続可能な社会をめざして
1	日本の輸入の特色
1	日本の輸出の特色
1	これからの工業生産について考える

4 本時の学習指導(本時 2/5)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5	○「持続可能な社会」について考える ・環境を大切にし、資源を使いきってしまわない社会 (例) 電気自動車 ・排気ガス、二酸化炭素が出ない ・燃料を使う量が減る <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 「持続可能な社会」をめざして、日本はどのような取り組みをしているのだろうか </div>	○電気自動車を例に、持続可能な社会の意味と日本も国としてそれをめざしていることを知る。
15	○日本が「持続可能な社会」の実現のために行っている取組を調べる ・風や地熱、太陽光の力で発電 ・環境に配慮した製品 ・二酸化炭素を貯める技術	★冊子の活用 日本が「持続可能な社会」の実現のために行っている取組みの資料の一つとして提示する。
20	○「持続可能な社会」とは、どのような社会を目指しているか ・環境を大切に社会 ・自然エネルギーを活用する社会	○調べたことから考えられる総括として、「○○な社会」と話すようにする。
5	○まとめ ・日本は持続可能な社会をめざし、環境問題やエネルギー問題などに関する取り組みをし、研究を進めている。	○日本はいろいろな取り組みをしているが、これからも研究が重要であることをまとめる。

5 他教科等とのつながり ○理科「エネルギー」「地球温暖化」	6 社会とのつながり ○家庭や地域の人たちに調べたことを伝える
--	---

7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）

- 家庭や地域の方に、調べたことを伝えるとともに、これからについて一緒に考える機会をもつと、学習がより深まる。
- 副読本を活用することにより、環境保全の取組の情報を得る。
- 自分の考えの変容が、具体的な行動にどう表れるかについて、「エコライフデー」を活用するとよい。

8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など

- 資料から二酸化炭素を貯める技術があることが分かった。
- 自然エネルギーを利用した社会を目指していることが分かった。
- エネルギーを大切にすることで、地球環境が守られていることが分かった。

9 研究協議の内容

- 環境問題と持続可能な社会との関連を具体的に示すこと。
- 環境の資料を強調すること。